

内容紹介リーフレットを作ろう

ねらい

- ・目的や意図に応じて、必要な情報を選択したり整理したりする力
- ・目的や意図に応じて、伝えたい事柄が相手に明確に伝わるように書く力を付ける！

単元・授業の流れ

指導のポイント（留意点）

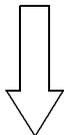
ア 見通しをもつ（意識化）

- 1 アンケートに記入し、課題を明らかにする。
- 2 パンフレットやリーフレットなどの比べ読みをする。
- 3 学習課題を設定し、学習計画を立てる。

身近なパンフレットやリーフレット、チラシやポスターなどを比べ読みすることによって、リーフレットがどのようなものを理解させる。

《手立て》

- ・実物資料を提示して意欲を喚起する。
- ・モデルとなるパンフレットやリーフレットを提示して書き方を知らせる学習活動を行う。
- ・ワークシートや生徒用手引きを活用する。
- ・学習計画表で学習の見通しを示す。



身に付ける

イ 習得 ←→ 活用

- 4 情報の収集をする。
- 5 リーフレットに書く情報の整理をし、紙面の編集をする。
- 6 紙面構成（レイアウト）をする。
- 7 下書きをする。
- 8 清書をする。
- 9 自己評価をする。

言語活動を通じた指導

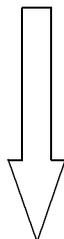
（小学6年生向けの内容紹介用リーフレットを作る。）

相手や目的に応じ、表現を工夫してリーフレットを作成させる。（習得 ↔ 活用）

- ・相手や目的に合った形式や、伝えたいことが明確に伝わる表現の工夫について考えるよう促す。
- ・「八チドリ不思議」を読み、小学6年生に内容が正確に伝わるように、必要な情報を整理するよう助言する。
- ・相手に伝えたいことが明確に伝わるように情報を整理し、紙面を工夫してリーフレットを作成させる。

《手立て》

- ・レイアウトを考え、表現を工夫する際にスモールステップによる学習活動を行う。
- ・まとめ方や表現の仕方のモデルを提示する。
- ・ワークシートや生徒用手引き等、学習活動を補助する資料を活用する。



エ 振り返る（定着）

- 10 リーフレットを相互評価する。
- 11 学習のまとめをする。

提示されたモデルや学習活動を通して学んだ書き方のポイントを生かして書くことができたかを評価させる。

《手立て》

- ・ふせんや評価表を活用して、グループ内での相互評価と全体での意見交流会を行う。
- ・学習計画表で単元の学習を振り返る活動を行う。